

「地域福祉コーディネーター」とは

(県地域福祉支援計画)

「地域において課題やニーズを発見し、受け止め、地域資源（サービス等の情報・人・場所）をつなぎ、具体的な解決へ導くことができる人材」

リーフレット作成にあたり、県民に伝わりやすい平易な言葉で表現
さらに、次の要素を加える

- 特定の資格をもった専門職や職種を指すものではないこと
- 地域を元気にしたり、楽しくするような活動を行う人
- つなぐという行動だけでなく、そこにある気持ちを大切にすること

→ (案) 県は、特定の資格や職種に限定せず、次のような人を広く地域福祉コーディネーター^(※)と考えています。

- ・ 地域において課題を抱える人や助けを必要とする人に対して、支え合いの気持ちをもって行動をおこす人
- ・ 地域を元気にするような活動や、住民同士の何気ない活動を広げることなどにより、地域のつながりづくりに携わる人
- ・ 専門的な知識をもって、地域住民の相談に乗ったり、課題の解決に向けて関わる相談員等の専門職

※ 市町村によって、コミュニティソーシャルワーカーや〇〇サポーター等さまざまな名称があります。県ではそうしたさまざまな名称で活動する人たちも含めて地域福祉コーディネーターとして考えています。

また、県では、地域住民、専門職や関係機関など、地域に関わるみんなが連携したチーム（“地域福祉コーディネーターチーム”）となることによって、地域の課題の解決や地域づくりが進んでいくと考えています。

《参考》

○ 県内市町村における「地域福祉コーディネーター」の定義

- ・ 平塚市
町内福祉村に配置されるコーディネーター（ボランティア）
業務は、相談の窓口、振り分け
- ・ 小田原市
特別な職種や資格を持つ人ではなく、地域で起こっている問題を解決するために、様々な人を結びつけながら行動する人で、これからの地区社会福祉協議会活動の新しい担い手にもなる人

- ・ **厚木市**

個別の課題や地域のニーズに「気づく」、そして拾い上げ、必要な支援を行う上で活用できる制度や資源を探し、「つなぐ」、「つくる」というキーワードから、ニーズへの対応策や解決策を住民と一緒に考え、解決に向けて、住民の主体性を基盤とした小地域福祉活動の支援に努める（市社協職員）

- ・ **座間市**

地域のリーダー的役割を担う民生委員児童委員、自治会、地区社協役員、ボランティアなど

- ・ **中井町**

地域福祉推進のため、課題やニーズを発見し、受け止め、地域の資源をつないでいく、地域での生活を支えるネットワークの中心になる人材

- ・ （愛川町）※H28年に「地域福祉サポーター」に名称変更
物事を調整し、まとめる人。さまざまなものを組み合わせる人。